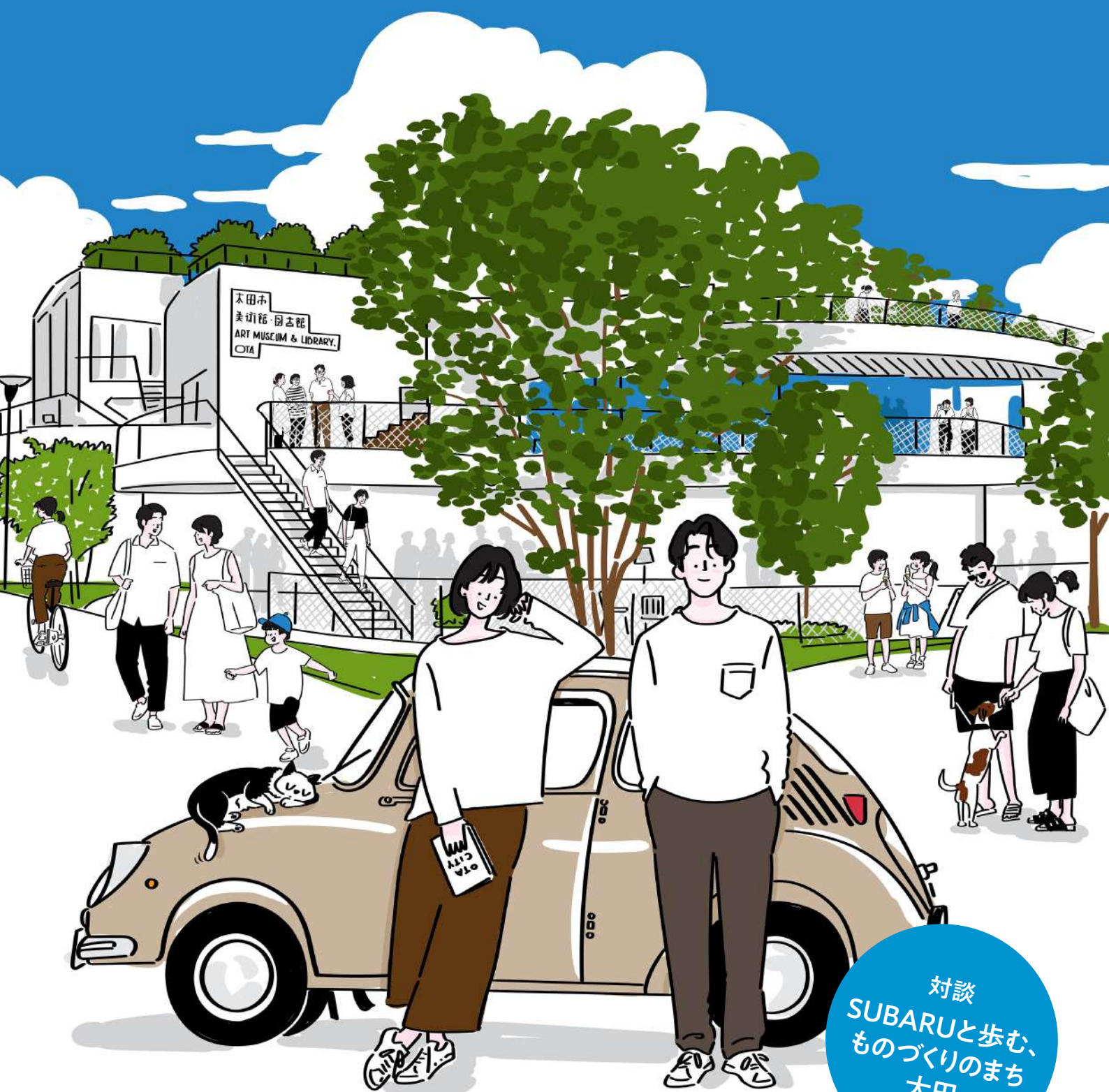


TAKE
FREE

市民ライターが作った「太田市のガイドブック」

OTA *magazine* vol.6

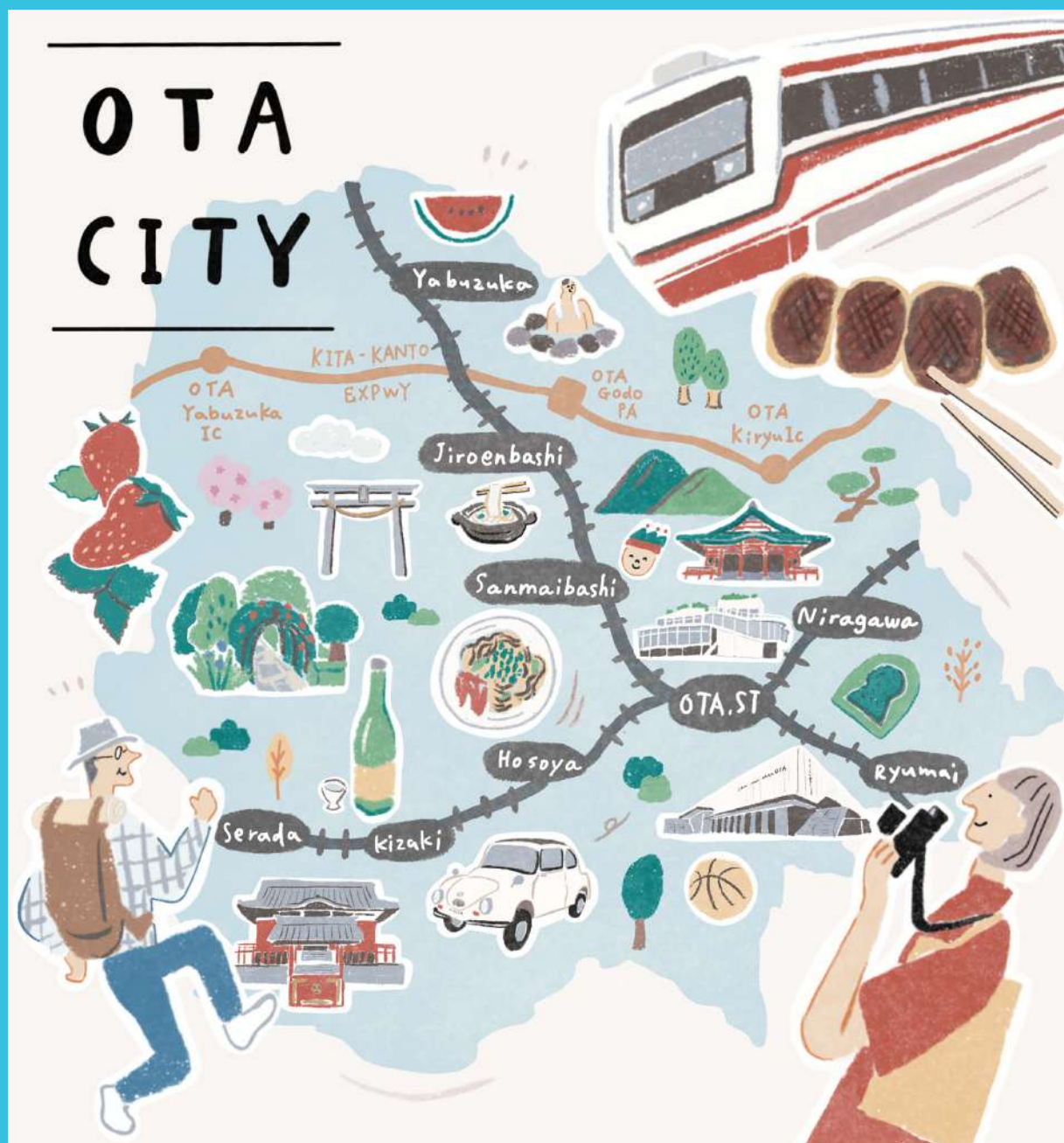


対談
SUBARUと歩む、
ものづくりのまち
太田

群馬県の太田という、豊かなまちの暮らしについて

今年で6冊目の発行となるOTAmagazineは、
太田市に住む、市民ライターの手によって制作されています。
全員で企画し、書き、写真を撮って、このまちを訪れるみなさんの
時間が楽しいものになるように考えて作りました

OTAmagazineは 市民ライターが制作しています



“OTAmagazine 編集長よりごあいさつ”

たくさんの方の力をお借りして、Vol.6が完成しました。
今回は、過去にOTAmagazineの制作に携わった市民ライターが再集結！それぞれの「太田市の推し」を紹介してもらいました。また、初の試みとして市外在住者を対象とした「太田市ツアー」を開催し、その模様も掲載しています。

「農業」「粉ものグルメ」そして「多文化共生ツアー」と、それぞれディープな太田を満喫してもらったわけですが、帰る頃には「太田のファンになりました！」「今度はほかのツアーを巡りに遊びに来ます！」と嬉しい声をいただきました。きっと、一生懸命企画を考えてくれた市民ライ

ターの熱意が伝わった結果なのでしょう。

OTAmagazineのおかげで太田市の解像度が上がり、太田市のファンが増えているのを感じます。Vol.1に市民ライターとして参加したときには想像もなかった光景が広がっていて、ちょっと泣きそうになったのはここだけの話。

みなさんにとって、住んでいるまちはどんなところですか？ 友達が遊びに来てくれたら、どこに連れて行きますか？ なにを食べてもらいますか？ OTAmagazineは、そんなことを考えながら作った雑誌です。どうか、この1冊があなたの暮らしに寄り添うものでありますように。



OTAmagazine編集長／
キラユキエ

“9人の市民ライターを紹介します”

制作に携わるたびに、できることや肩書きが増えていくことが嬉しいです。「写真撮影」「編集長」に加え、新たに「GOOD LUCK SCONE (グッドラックスコーン) の店主」として、太田市ツアーに参加された皆様に手づくりのイングリッシュスコーンを提供しました。「粉ものグルメ」と「多文化共生」が混ざり合う太田市で生まれたシンプルなスコーンで、このまちに新しい文化を作りたいと思っています。



キラクキエ

秋田県出身、2012年に太田へ移住。フォトグラファーとイングリッシュスコーン製造販売の二足の草鞋で活動中

2号から参加していますが、「OTAmagazine」は、太田市に文化の種を播いてくれたと感じています。今回、市外や県外の方と一緒に「太田市のとっておき」を巡ったことで、地域の魅力は私たち市民の力で掘り起こせる、という自信を持ってました。歴史と伝統、ものづくり、農業（野菜、粉もの文化）、多文化共生などなど、太田の宝物はまだまだいっぱいあります。これからもバリバリ発信していきたいです。



斉藤あい

小説家、金融OL等を経て太田へUターン。Instagram「数塚通信」で地域の情報を発信中です @yabuduka_tushin



猪爪 もも

太田歴11年。東京都出身。太田は、夏暑くて冬寒い以外は最高!! オススメは旧中島家住宅、八王子山公園です

Vol.2で市民ライターをしたのは2020年。新型コロナまっただ中に、慣れぬリモートを活用し、冊子となったOTAmagazineを手にした時は感慨もひとしおでした。今回は市民ライターそれぞれの太田の推しをツアー参加者に直接伝える広報のような役割で、打ち合わせから市民ライター大盛り上りの今昔太田トーク。そこから生まれた本に行きたい太田ツアー。ぜひ実際に体験しに来てくださいね!



青柳靖子

太田歴=歳の数です。生まれも育ちも、ずっと太田。たぶん、これからは。お世話になります!

6冊目の制作ということで、ワークショップに参加させていただきました。おかげさまで「おおた6ラボ」という団体の活動を知ることができましたし、7月初めの炎天下で行った「粉ものツアー」では、バラエティ豊かな太田の粉ものを食べながら、太田の名所を再確認できました。太田歴〇年ですが、ギュッと詰まった、濃くておいしい、楽しい時間を過ごすことができ、思い出深い1日となりました。

太田出身の人もそうでない人も、自分たちが今住んでいる太田をより深く知る、新しい発見があるワークショップでした。農業ツアーへの参加、そして市外県外から来られた方々と一緒に、自分たちが紹介したい太田をめぐるナビゲーターの立場も経験。Vol.6の制作は、参加前には想像もしていなかったことの連続でした。ぜひみなさんもOTAmagazineをとおして太田を楽しんでください。



なみ

去年、初マラソン大会で無事完走。景色を楽しむマラソンをしています。現在は手相占い勉強中。語学、猫が好き

OTAmagazineはVol.1の制作に関わらせていただいた後は、Vol.2、3と市民ライターたちの活躍を誌面を通して見守っていましたが、もう一度自分の暮らすまちの発信者になりたいという思いから、Vol.6制作に参加させていただきました。今回は市民ライター自身もまちに出て市の魅力を発掘していく体験型で、3回という短い回数でしたが、とてもディープな時間でした。思い出がぎゅっと詰まった心に残る1冊になりそうです。



渡澤悦子

太田生まれ太田育ちの純太田人。会社員、ときどき物書き。ゆっくりのんびり言葉を綴りながら太田で過ごしています



たいらひらめ

太田歴6年目のイラストレーター。OTAmagazine vol.5でイラストを担当。趣味は、家庭菜園と絵日記

日常を太田で過ごす私にとって、「観光地」になっている太田を見るのは新鮮な体験でした。農業ツアーでの、枝豆収穫などを楽しむ親子の姿。モデルコースツアーに参加した市外の方々の様子。太田在住の私ですらとても楽しかったのは、そこに人を中心としたストーリーがあったからだと思います。それぞれの施設やお店が持つ、経緯や想い。そういったお話が、まちに色を付けていくように感じました。



中村ゆか

絵本好きが高じて自宅の屋外に絵本を楽しめる場所を作り、おおたまちゅう図書館に「tete library」として登録

いつも思うのですが、市民ライターのパワーがもう半端ないのです。一度話し始めると、色々なアイデアが出てくる出てくる。バッグに打ち出の小槌を忍ばせているに違いありません。今回はOTAmagazine初のツアー企画。ツアーに参加してくださった市外の方々と交流は、私の視野をさらに広げてくれました。参加者の感想を直接聞けるととても貴重な機会とツアー当日の編集長の最後のコメントに目が潤みました。

制作サポートメンバーの紹介



小川 尚子
ディレクター

太田市出身のプロライター。OTAmagazine Vol.1から制作をバックアップ



佐野 学
フォトグラファー

Vol.1では講師としても活躍。誌面内の多くの撮影を手掛けるプロの写真家



小泉 輝
スタートアップ

OTAmagazineの制作進行のすべてを仕切る縁の下力持ち。Vol.5より参加



小宮山太輔
アートディレクター

創刊からVol.6まですべてのデザイン&アートディレクションを担当するデザイナー

3回目の参加となるVol.6 ワークショップでは、移住してきたライターさんたちが私の知らない太田の魅力を語っているのを見て、普段の生活が他者から見たら素敵な魅力になるんだと感じ、誇らしくもありました。今回は市外の方々と巡る粉ものツアーにも参加させていただき、実際に体験して魅力を伝えられたことは私にとって価値あることとなりました。



みいしゃん

Vol.3にて、表紙のライター似顔絵おにぎりを担当させていただいた料理講師です。最近、焼き菓子販売も始めました

市民ライターがそれぞれのまちの推しを紹介！

取扱説明書

太田のトリセツ！

やっぱりまちの本当のディープな魅力は
住んでいる人がいちばん知っています。
ここでは「太田のトリセツ」と称して、
知っているとこのまちとの距離が
ちょっと縮まるトピックスをお届けします

2 | 日本イチ「暑い」まち(かも)



太田市の西隣、伊勢崎市がこの夏、観測史上最高気温の41.8℃を記録。北隣、桐生市も今夏41.2℃で当時の最高。南隣の埼玉県熊谷市は2018年に41.1℃。まちを挟んで東隣の市、館林市では2007年に40.3℃を記録。あれ？ その真ん中の太田は？ 気象観測所がないんです。と、いうことは…実は太田がいちばん暑いかも？！

1 | 子育てするなら太田は最高！



充実の子育て支援！例えば未就園児向けの支援センターは市内に17カ所も。手芸アートや陶芸、プールなど施設ごとにイベントが充実。この4月には満1歳から満3歳未満の子の一時預かり施設がオープンし、ママやパパのリフレッシュ目的でも預かりOK！おむつのサブスクや中学まで給食費無料なのもありがたい！

4 | 子連れの「神公園」あります

県外からも多くの人を訪れる総合公園「ぐんまこどもの国」。夏は水遊びもでき、悪天候でも敷地内の児童会館でプラネタリアムや工作が楽しめます。お腹が空いたら食堂も！とりあえず、あそこに行けばなんとかなる！と思わせる子育て世代の神スポットです。



[MAP B-2]

3 | きんざんじゃなくて「金山」よ

太田の山と言えば金山(かなやま)。多少道に迷っても、金山が見える方角で現在地を把握できる市民のランドマーク的存在です。市街地に近く世代を問わず山歩きを楽しめ、新田神社や日本100名城のひとつである史跡金山城跡からの眺望は、そこに行くことを日課にする人もいほど清々しいです。



6 | 自慢できる素敵な「学校」



[MAP C-2]

「おおた芸術学校」は、小中学生がリトミック・合唱・オーケストラ・演劇を学ぶことのできる市営の学校です。バイオリンや演劇など、習い事としてはハードルが高く感じるものも良心的な値段で学ぶことができ、太田の文化水準を底上げしています。また、他にもプログラミングやスポーツの学校も！

5 | 実は太田は「野菜王国」



実は隠れた農業の地、太田。乾燥した空気と寒暖差が野菜をおいしくしてくれます。直売所は充実しているし、農家のお裾分けや家庭菜園も定着して、野菜の物々交換はもはや日常の光景。家庭の食卓には旬の野菜があふれています。飲食店でも地場野菜と書かれたメニューを選べば間違いなしです！

8 | そんでもって「埴輪」のまち

2024年に東京で行われた「はにわ展」の目玉、国宝「挂甲の武人」。実は太田市出土って知っていましたか？ 同じ工房で作られた可能性のある埴輪はほかにもあり、5人兄弟とも。その内4体は太田市出土のもの。あの「はにわ展」、太田市出土のものがたくさんあったのです。



国宝
「挂甲の武人」は
太田市出土。
5人兄弟だよ

7 | 東日本最大の「古墳」のまち

市内には、東日本最大の規模を誇る天神山古墳(大前方後円墳)が存在します。この天神山古墳、あろうことか古墳の後円部脇には道が通っていて車で抜けられます。市内にはほかにも約1600基の古墳があり、なかには畑の中に存在しているものも。古墳、このまちではもはや生活の一部？



[MAP C-2]

10 「渋滞」すら宝探しのまち!

群馬県は車社会。そのなかでもSUBARUのある太田はさらに車社会で渋滞も多いんです。時にはナビ上の道路の表示が真っ赤になることも! でも思い切って回り道をしてみたら、その途中で素敵なお店を見つかったり、印象深い景色に出会ったり。時には自分の住むまちの隠れた一面を知るきっかけになり、思いがけない幸運を運ぶこともありますよ。太田は裏道にこそ楽しみが多いまちなのです。

12 見上げれば「打ち上げ花火」



毎年8月の第2土曜に開催される、太田市の夏の風物詩「新田まつり」。そのフィナーレを飾る花火大会のいちばんの魅力は、なんと言っても打ち上がる花火を間近で楽しめること。見上げた夜空に数千の光の花が咲き、流星のように降り注いでくる光景は感動! のひとことです。

14 「藪塚エリア」は太田の中目黒!?

太田駅から車で3駅。渋谷から2駅先の中目黒のように、藪塚駅周辺にいまおしゃれな店が増えています。この春オープンしたDIY仕上げの店舗には、同級生だという若いオーナー2人組によるリユース家具店と釣り具専門店が併設。週末中心の営業ながら「ココにしかないモノ」を求めるファンが集結し、新たな文化の発信源となっています。



Holy Lures Gunma @Holy_Lures_Gunma
monoroom gunma @mono_room_gunma
【MAP B-1】

9 太田の新土産「ネオセン」にやみつき!



市内産の米を使用した薄焼き煎餅「ネオセン」の販売が道の駅や市内のコンビニでスタートしました。パッケージを飾るのは、市の新キャラクター「ネオタ」。梅ざらめ、カレー、黒こしょう、一味唐辛子の4種類の味があり、ふるさと納税返礼品としてもお届けします。心地よいパリパリ食感、1度食べたらやみつきに!

11 両毛地区の宝「八木節」



『八木節』は、両毛地区に伝わる伝統的な民謡です。笛や太鼓等による楽曲と踊りから構成され、お隣の桐生・足利で名高いものですが、実は太田でも活動する団体が数多くあります。毎年夏には、太田市八木節連合会による、八木節教室も開催され、親しまれています。

13 お酒は「量り売り」が○

車来店(ほぼ)100%の太田では店頭でのお酒の試飲は難しい。そこで、もともと酒屋の文化だった量り売りを復活させたのが、厳選された全国各地30歳の日本酒が並ぶ築130年の古民家酒屋「金谷酒店」。専用ボトルで店のおすすめを少量から気軽に楽しめます。



金谷酒店 @kanayasaketen

【MAP B-3】

16 「祇園祭」は京都だけじゃない!



豪華絢爛な8台の屋台が集結し、伝統のお囃子が鳴り響く「世良田祇園まつり」。「関東三大祭り」と称されたその祭りの歴史は古く、およそ450年前の記録が残っているそう。世良田地区の子供たちは、小さな頃から和太鼓やお囃子に慣れ親しんでいるのです。

15 「ねぶた」は青森だけじゃない!



青森県弘前市と太田市の歴史的なつながりから生まれ、40年の歴史を持つ「尾島ねぶたまつり」。「ヤーヤドー」の掛け声とともにまちを練り歩く色鮮やかなねぶたに酔いしてください。クライマックスのねぶた太鼓とまつり囃子の太合奏をお見逃しなく!

18 地域の誇り! クレインサンダーズ

B1リーグ、群馬クレインサンダーズのホームタウン・太田市。チームマスコットのサンダくんは鶴、チームカラーは群馬名物の雷を表す黄と黒。このポストデザインは市内の小学生が選んできたそう。小学生達はお揃いのクレインサンダーズ帽子を被って登下校しています。



17 「看板」からも感じるこのまちの多様性

最近日本語、英語の二カ国語表記がある看板が増えていますが、太田市では三カ国語表記で書かれている看板も。日、英、そして三カ国語目はポルトガル語。市内の小学校では、運動会のアナウンスを日本語&ポルトガル語の2カ国語で行うところもあるんですよ。



モニターツアーも
実施しました!

市民ライターが作った 太田のモデルコース 3 TOUR

地域の魅力を知り尽くした市民ライターが
太田の魅力を伝えるモデルコースを考案。
市外在住者が参加したモニターツアーの
レポートを通じて、このまちの
奥深い世界をのぞいてみましょう



では宿題を
発表して
ください

みんなでツアーを
企画するんです



全員で
ツアーを成功
させましょう!



おいしい野菜が育つ 太田の「都市農業」

突然ですが、太田市と聞いてみなさんはなにを思い浮かべますか? 多くの人がSUBARUの企業城下町として、日本のものづくりを支える工業都市を想像するかもしれません。けれど実際に足を運んでみると、ほかにもさまざまな顔を持つていることがわかります。今回、市民ライターと編集部が作ったモデルコースは、そんな知られざる太田の魅力を感じてもらうための特別な旅。テーマは「農業」「多文化共生」「粉ものグルメ」の3つです。

太田のソウルフード 「粉ものグルメ」

場が多いことから、ベトナム人や日系ブラジル人を中心に外国人労働者が多く、昨年には多文化共生センターもオープン。公立の小中学校では、外国にルーツを持つ子供たちのための日本語教育にも力を入れているそうです。市街地には輸入食材店やエスニック料理店が点在し、ちょっとした海外旅行気分も味わえます。ツアーでは、異文化が自然に溶け込んだまちの日常を体験し、言葉の壁を越えた温かい交流を肌で感じてみましょう。異なる文化を尊重し、一緒にまちをつくりあげていく太田市民の姿は、心を大きく広げるきっかけになるかもしれません。

まず最初に着目したのは、県内有数の農業地域としての太田の一面です。太田の農業は、利根川水系の恵みを受けた肥沃な土地での野菜栽培が中心で、主に首都圏の市場に出荷されています。ブランド化されているフルツマトや大和芋のほか、枝豆の栽培も盛ん。日照時間が長く、寒暖差もある恵まれた気候で育つ野菜は味が濃く、シンブルな調理法でもおいしくいただけます。と評判です。ツアーでは、地元農家さんが丹精込めて育てた新鮮な野菜を、実際に自分の手で収穫。土の香りや、採れたて野菜のみずみずしさを感じれば、食卓に並ぶ食べ物への見方も変わるはずです。

プチ海外旅行気分も! 太田の「多文化共生」

また、太田を語るうえで欠かせないキーワードのひとつが多文化共生です。実は太田は、日本でも有数の国際色豊かなまち。自動車関連の製造業が盛んで工

そして太田と言えば忘れてはいけないう粉ものグルメです。もともと赤城山から吹き下ろす小沢川風による乾燥した気候が小麦栽培に適している群馬県。生産量は全国7位で、古くから焼きまんじゅうやおつきりこみと呼ばれる煮込みうどんなどの郷土食が親しまれています。また戦後の発展期、太田で働く人々の胃袋を満たしてきた焼きそばは、このまちの歴史そのものの。近年ではパスタやパン、スイーツなど粉もののバリエーションも広がっています。ツアーでは、そんな奥深い粉ものグルメの世界を味わいながら、食を通して太田の歴史と人々の温かさにも触れてみたいと思います。モニターツアー当日のナビゲーターは9名の市民ライター。彼女たちと一緒に、さっそく太田の新しい魅力に出会う旅へと出発しましょう。

約6時間の
コース

TOUR COURSE

① 枝豆収穫 → ② クラフト体験

TOUR 1

太田の 農業ツアー

自動車産業で有名な太田ですが、フルーツトマトやこだま西瓜をはじめ農作物も充実。最初のツアーは太田の「農」を感じに出発です

えだまめ収穫

太田市にキャンパスを持つ関東学園大学の地方創生研究所が立ち上げた、太田市の農業を6次産業にするプロジェクト「おおた6ラボ」。市民ライターは東武トップツアーズがおおた6ラボの協力のもと開催した「子ども体験プログラム」ツアーに同行して、太田を代表する農家さんである「木村園芸」に枝豆収穫に行ってきました。おおた6ラボは太田の農業の6次産業化を通して地域課題を解決して、地域に経済的利益を創出することを目指し、農家さんにもツアー会社にもきちんと利益が残る持続可能な取り組みを目指しているそう。関東学園大学の学生の明るさや、都内からやってきた子どもたちの楽しそうな姿が印象的で、市民ライターも枝豆収穫を楽しみました。



今後のツアー予定は決定次第、ツアー主催の「東武トップツアーズ」の公式HPで公開。太田市の豊かな「食」と「農」をリアルに体験できる貴重な機会です。ぜひ参加してみてください！

おっきりにみ作り



えだまめ料理



クラフト体験

枝豆収穫の後に向かったのは、明治からの歴史を持つ山崎酒造。雲田気ある酒蔵では、郷土料理のおっきりにみ作りやハーブのスワッグ作りを体験し、収穫した枝豆の料理もいただきました。おっきりにみには、太田の名産品である大和芋もたっぷり使われ、子供たちも包丁を手に真剣に調理。新鮮な枝豆の味の濃さ、甘さは格別で、自分たちで収穫・調理したものを味わう贅沢な時間を過ごしました。最後には、おおた6ラボが開発した、地元産のさつまいもとミルクをたっぷり使用したジェラートも堪能。太田市の農産物の豊かさを改めて実感できました。

山崎酒造さんいわく「太田は全国に野菜の苗を出荷しており、枝豆、ナス、ほうれん草、小松菜、トウモロコシあたりは全国トップレベル」なんだとか。太田の野菜のレベルの高さを再確認できました



約7時間の
コース

TOUR COURSE

- ① 太田市美術館・図書館 → ② イエロームング
④ エアリススペース ← ③ エアリスの小さな森公園 ←
→ ⑤ BongoBazar

TOUR 2

太田の多文化共生ツアー

「日本の10年後の姿が太田にある」と言われることもあるように、
太田には早くから多くの外国人が暮らしています。
このまちの多文化と多様性を感じる1日散歩に出かけましょう



Start!



① 太田市美術館・図書館

旅の始まりはまちのシンボルである太田市美術館・図書館から。建築家・平田晃久氏による美しく開放感のある図書館で、このまちの歴史に関する資料などをチェックしてからツアーを始めるのも〇。カフェの名物東毛酪農のミルク使用のソフトクリームも忘れずに。

☎0276-55-3036 ●群馬県太田市東本町16-30 ☎10:00~20:00(日・祝・毎月最終火~18:00) ※図書館と美術展観覧は18:00まで(美術展入場は17:30まで) (※月(祝の場合は翌日)、年末年始、蔵書整理期間 ※毎月最終火は図書館休館) 📍太田駅よりすぐ【MAP 太田駅周辺図】



② イエロームング

太田の多様性を象徴するようなこちらでは、クन्दーリ・ビジェイクマールさんによる本格的な南インド料理が楽しめる。メニューは日替わりで、この日いただいたのはナンではなく、ベースに米と豆を使った軽い食感のドーサ。酸味もあって小麦を使わないカレーとの相性は抜群でした。一気に多文化のまち太田が身近に!

☎0276-55-3162 ●群馬県太田市東本町21-29 ☎11:00~15:00(完売次第終了) (※不定休) 📍太田駅より徒歩5分 ※オープン日などは事前にSNSで確認を 【MAP 太田駅周辺図】



※エアリスの小さな森公園にはスコーンは
売っておりません



GOOD LUCK SCONE

@goodluckscone

店舗を持たないイングリッシュスコーン専門店。
イベントなどで不定期に販売しています。詳しくはInstagramでチェックを！

ピクニックと
スコーン
好相性！

③ エアリスの小さな森公園

新田エリアにある本格派英国風庭園は、惜しまれつつ閉園した「アンディ&ウィリアムズ ボタニックガーデン」を市が買い取り再整備。足を踏み入れた瞬間に緑の開放感に包まれます。スコーンと紅茶を持ち込んで、イギリスの休日のような午後も過ごしてみても？

☎0276-32-6599 ●群馬県太田市新田
市新田野井町459 ☎10:00~18:00 (10
~3月~16:00) 休月(年末年始・ほか
維持管理のための休あり) 太田駅より
車で25分 【MAP A-2】



珍しい調味料を
買って食の多様性を
ぜひ知ってみて

⑤ BongoBazar

店内に足を踏み入ると、そこはもう外国のスーパーマーケットに来たかのように。見たことがない野菜やフルーツ、加工食品がずらりと並びます。お客さんも多国籍で、日本人を探すのが難しいくらい。イスラムの文化であるハラールフードですが、来店は誰でもOK。海外の調味料やお惣菜など、どんどんトライしてみてください！



☎0276-57-8499 ●群馬県太田市飯塚町1545-2 ☎10:00~21:00
休無休 太田駅より車で10分 【MAP C-2】



④ エアリススペース

公立図書館としては県内最大のマンガの蔵書を誇り、先述のエアリスの小さな森公園、2024年にオープンしたエアリススケートパークと並んで、今太田でいちばんホットなスポットのエアリスベース。多文化共生ツアーのひとつ休みに、日本が誇るマンガ・コンテンツ文化を体感してみてください。

☎0276-57-2676 ●群馬県太田市新田金井町6-1
☎9:00~18:00 (土・日・祝~17:00) 休月・毎月最終水、年末年始、蔵書整理期間 太田駅より車で25分 【MAP A-2】



約7時間の
コース

TOUR COURSE

- ① 金山城跡 (史跡金山城跡ガイダンス施設) —
→ ③ 元祖呑龍 山田屋本店 ← ② イタリアンレストランPiA ←
→ ④ WANDERLUST → ⑤ Yoko's Cookies —
⑥ 太田市総合体育館 OPEN HOUSE ARENA OTA ←

TOUR 3

太田の粉ものグルメツアー

太田の粉ものは焼きそばだけでなく！
パスタからクッキーまで、地元で愛される
グルメを通じて、新旧のまちの魅力を感じて

① 金山城跡 (史跡金山城跡ガイダンス施設)

ツアーの起点は太田のシンボルである金山から。麓にあるガイダンス施設では、関東七名城のひとつとされていた金山城跡についての展示やジオラマなどを見学できます。時間に余裕があれば、ぜひ山頂にも足を運んで、関東平野の雄大な景色を楽しんでみましょう。



☎0276-25-1067 ●群馬県太田市金山町40-30 ☎9:00~17:00(最終入館16:30) ※月(祝の場合翌日休)、年末年始 入館無料 🚗太田駅より車で約10分 [MAP C-2]



③ 元祖呑龍 山田屋本店

おやつには群馬県民のソウルフード、焼きまんじゅうを。安政年間創業の老舗の焼きまんじゅう1本250円の特徴は、自家製麺を使用し、1本ずつ手焼きで仕上げるふわふわの生地。たっぷりからんだ甘じょっぱいタレや香ばしい焦げ目もアクセントになり、いくらでも食べられそう。

☎0276-22-3557 ●群馬県太田市金山町13-1 ☎9:30~17:30頃(売り切れ次第終了) ※月(祝の場合翌日休) 🚗太田駅より車で5分 [MAP C-2]

テイクアウトして
八瀬川沿いで
食べよう!



② イタリアンレストランPiA

続いて訪れたのは地元で30年以上愛され続けるイタリア食堂。ボリュームたっぷりのパスタは、定番からオリジナリティが光る創作メニューまで20種類以上をラインナップしています。太田らしさを味わえる焼きそばスパゲッティのほか、トマトベースのスパゲッティもおすすめ。

☎0276-22-3152 ●群馬県太田市東本町42-6 ☎平日11:00~15:00(14:15LO) 17:00~22:00(21:15LO) 土・日・祝11:00~22:00(21:15LO) ※水のディナータイム 🚗太田駅より徒歩8分 [MAP 太田駅周辺図]



4 WANDERLUST

前身は1976年創業の老舗パン屋「マイピア」。広々と開放的な空間に、北海道産小麦を使った自慢の食パンから、店主がドイツ修業時代に学んだ食事パン、惣菜パンまで約60種類が並びます。また音楽イベントやワークショップも定期的に開催。地域の縁側としても親しまれています。



☎0276-22-2200 ○
群馬県太田市西本町
5-30 ☎7:00~17:00
休水 📍太田駅より徒歩
10分 【MAP 太田駅周
辺図】

6 太田市総合体育館 OPEN HOUSE ARENA OTA

ツアーの締めくくりは、太田で今最も話題のスポットへ。男子プロバスケットボールチーム「群馬クレインサンダーズ」のホームアリーナは、約5000人収容の空間に、国内最大級の可動式センタービジョンや世界最高峰の音響施設を備え、迫力ある試合観戦が可能に。ライブやイベントなどにも使用される、地域の新たなシンボルとなっています。



☎0276-49-6646(太田市総合体育館) ○群馬県太田市飯塚町1059-1 📍太田駅から広域
公共バスあおぞらで約10分、運動公園野球場下車徒歩5分 【MAP C-3】

5 Yoko's Cookies

群馬県産小麦や奄美諸島産のきび砂糖など素材にこだわったアメリカンクッキー専門店。定番のチョコチップクッキーやバターソルトクッキー各290円は、しっとりソフトな食感が特徴で、どこか懐かしさを感じる優しい味わいです。店舗での販売は事前予約制で、焼きたてのおいしさを求めて連日多くのファンが訪れます。太田のふさと納税返礼品としても人気。



☎なし ○群馬県太田市飯塚町869-1
Long Island Bldg 2F ☎11:30~
15:00 休土・日・月・祝 📍太田駅より
車で約9分 【MAP C-3】

SUBARUと歩む、

ものづくりのまち 太田

太田市は自動車メーカー・SUBARUが100年以上にわたり、その技術と精神をはぐくんできたまち。まちと企業が互いに共鳴し、高め合うユニークな関係性について、SUBARUでモータースポーツプロジェクトを担う本井雅人さんと自動車ライターで太田市議会議員でもある高野博善（ペンネーム：マリオ高野）さんが語ります



SUBARUの歴代の名車が展示されている「スバルビジターセンター」にて、左から、太田市議会議員のマリオ高野さんとSUBARUのモータースポーツ技術プロジェクト担当部長の本井雅人さん

「ものづくりのまち」として知られる太田市。その発展を支えてきたのは、他でもないSUBARU（旧・富士重工）の存在です。

今回は株式会社SUBARUにて、モータースポーツプロジェクトや開発を担う本井雅人さんと、SUBARUをこよなく愛する太田市議会議員のマリオ高野さんが、まちと企業の関係について語り合いました。両者が手を取り合うことで、太田市の未来がどう変わっていくのか。SUBARUと太田市が織りなす特別な物語をひもときます。

モータースポーツで磨く 確かな技術力

高野さん…本井さんは入社以来約30年間、SUBARUの軽自動車を除くほとんどの車種の開発を担当されてきたそうですね。本井さん…はい。現在は、主にモータースポーツという、極限の現場を舞台として活かし、カーボンニュートラルへの挑戦や人財育成、技術力向上に資する取り組みを推進しており、スーパードラッグレースに参戦するチームの代表を務めています。

高野さん…モータースポーツが量産車の技術開発に直結しているところって、SUBARUの最大の魅力ですね。本井さん…そうですね。特に研究実験部では、社員が改善策を考え、自らテスト走行をして評価するという開発スタイルを貫いています。他社では専門のテストドライバーがいることが多いのですが、SUBARUではエンジニアが自分で運転して評価するんです。かつてはモータースポーツと量産開発が別次元だった時期もありましたが、今は技術者がレースにも携わること

で、培った技術がすぐに量産車に活かされる仕組みができました。例えば、レースで磨かれたエンジンの制御技術が、市販車に搭載されたり、既にありいただいているクルマのソフトウェアアップデートとして提供され、お客様の車に反映されるんですよ。安心・安全な走りはもちろん、運転の愉しさも同時に届けられるようになりました。

高野さん…そういった技術面への情熱は、昔から脈々と受け継がれているのですか。

本井さん…そうですね。ほかの自動車メーカーと比べると規模がそこまですごく大きいこともあり、「自分でなんでもやる」という精神が当社の特徴だと思います。

100年にわたり息づく ものづくりの精神

編集部…高野さんはSUBARU好きが高じて太田市に移住されたそうですが、どのような経緯でそうなったのですか？

高野さん…実はもともと車には興味が強かったんですよ。免許





を取ったのも仕方なくて、車も単なる移動手段として買ったんです。それが、初めてSUBARU車に乗って、交差点をひとつ曲がった瞬間に「車の運転ってこんなに楽しいんだ!」と、まるで目からウロコが落ちる思いがして。そこから人生が変わり、車の専門誌のライターになりました。その後、ライターとして多くの車に乗る中で、やっぱりSUBARUが好きだという思いが高まり、いつか本拠地である太田市に住みたい、と憧れを抱くようになったんです。編集部・高野さんからご覧になって、太田市にとってSUBARUの存在はどのようなものだと思いますか?

高野さん…太田市は、全国的に見ても特殊なまちだと思います。工場がまちに來たのではなく、まず工場ができて、そこに働く人々が集まってまちになったからです。まちの中心にSUBARUの工場があるのは、まさにその歴史を物語っていますよね。戦時中の中島飛行機の時代から100年以上の長きにわたり、ものづくりが太田市の歴史の中心にあり続けているんです。本井さん…SUBARUは、完成車メーカーとしてクルマに使われる3万点以上の部品を調達もしくは製造し、組み立てていますが、その膨大な数の部品は、太田市内や近隣にある数多くの関連企業によって支えられています。SUBARUという冠こそ付いていないものの、自動車産業に携わる人々がこの地域には多い。こうした企業やそこで働く人々がいるからこそ、太田市は「ものづくりのまち」としてのアイデンティティを確立しているのかなと思います。編集部…今日の本井さんのお話を聞いて、SUBARUとそのお隣である太田市は、「クリエイティブマインド」を持った人が集まっていると感じました。最近では、自動車産業で培われた

技術を転用して作られたアウトドアグッズなども人気を集めていますものね。高野さん…でも移住者目線と言うと、一般市民のみならず、一般市民のみなさんへ「ものづくりのまち」としてのアイデンティティを意識されていない気がしますね。今後は市議会議員として、市民がSUBARUとつながり、SUBARUの持つ高い技術力やマインドを肌で感じ

るような取り組みを進めていきたいと思っています。まちと企業のつながりをさらに深めたい。本井さん…高野さんの「太田のまちとSUBARUのつながりを深めたい」という考えは、私たちも同じです。現在、私たちは社内ですばるエンジニアリングアカデミー」というエンジニア育成プログラムを立ち上げ、社員に高度な運転技術や評価能力を学んでもらっているのですが、まずはこの学びを太田市民のみなさんにも広げたいと考えています。編集部…実際にどのような取り組みを行なっているのですか? 本井さん…スムーズなハンドルの切り方や、雨の日でも安全に走るための運転のコツ、万が一の際の急ブレーキ体験など、教室では習わないような実践的な内容の講習を行なっています。プロのドライバーにももちろん、我々の開発チームにいるエンジニアたちも常に自分の運転を客観的に見つめ直し、どうすればもっと上手に走れるか追求しています。そうしたマインドを一般ドライバーの方々にも持っていただくことで、運転がより愉しくなり、結果的に交通事故の減少にもつながると考えています。実際、我々が社内ですばるしている運転訓練受講者の事故率



は圧倒的に低いんですよ。高野さん…走りを楽しめれば安心安全につながる。そんなSUBARUの根本にある考えを、実際に市民のみなさんにも感じてもらいたいということですね。本井さん…はい。最近では設計、実験、モノづくりのメンバーが同じフロアで開発・議論するなど、社内の雰囲気も非常にオープンになってきていますので、それがいざればまちにも広がります。SUBARUを感じられる場所が増えたら嬉しいです。高野さん…私もSUBARUを感じられる場所として、市内にふらっと立ち寄れる施設がもっと増えればいいなと考えています。本井さん…このビジターセンターのように、一般の方にも気軽に見ていただける場所をさらにつくれたらいいですね。ぜひ、ともに動いていきましょう。

高野博善さん インフォメーション

「マリオ高野」のペンネームでSUBARU車の魅力を積極的に発信。SUBARU車の専門チャンネルにも出演中



Instagram

<https://www.instagram.com/mario.takano/>



YouTube

マリオ高野氏YouTube
「SUBIE CHANNEL / スピーチャンネル・SUBARU」

<https://www.youtube.com/channel/UCXLyeZhjFZi6S4GfnxU3XtQ>



SUBARUを体感できるスポット

太田市内でSUBARUを感じられるスポットをご紹介します。
ここでしか買えないレアなおみやげにもご注目!



SUBARUが太田のまちとの共生をテーマにデザインした遊び場。クッション性のある床に車のおもちゃや金山をイメージした段差などを設け、小さな子供でも安心して遊べる空間に。

えがおのあそびば

☎0276-47-8700(イオンモール太田)
●群馬県太田市石原町81 イオンモール太田専門店2F 【MAP C-2】



SUBARU 群馬製作所 矢島工場の敷地内にある展示施設。スバル360から幻のプロトタイプラリーカーまで、SUBARUの歴代のクルマや技術、安全への取り組みを紹介しています。

株式会社SUBARU
スバルビジターセンター

☎0276-48-3101 ●群馬県太田市
庄屋町1-1 <https://www.subaru.co.jp/csr/factory-tour/> 【MAP C-3】



太田市美術館・図書館のサブエナシヨップ。そして太田駅前のみやげもの店として太田の魅力を発信。なかでもSUBARUグッズは、文具から羊羹まで、充実の品揃えが自慢です。

Coffee&Things Oh!

☎0276-55-8321 ●群馬県太田市
東本町16-30 (太田市美術館・図書館内) 【MAP 太田駅周辺図】

ものづくりのまちの思いが詰まった ふるさと納税返礼品

太田のふるさと納税返礼品は、作り手の思いが込められた逸品揃い。自動車産業の技術を転用して作られたアウトドアグッズに特産品の果物や野菜、人気パティスリーのスイーツなど、注目アイテムを厳選して紹介します



眠り製作所

抱かれ枕 アーチピロー

寄附金額 27000円～57000円

仰向け寝では頭・首・肩・腕の4点支持による浮遊感を、横向き寝では抱き枕に抱きついたようなリラックス感を。職人の技術と経験が凝縮した枕で、今までにない眠りを体感できます。太田の姉妹都市、今治市とコラボした今治タオルver.も人気。



ダニエルハウス

クラフトビール

CHROA

寄附金額 9000円～17000円

市内の醸造所で職人が丹精込めて造った麦芽100%のクラフトビールに缶タイプが登場。パッションフルーツのような香りが優しく立ちのぼるウィートエール「トラボルタ」、リッチでモルティな仕上がりのレッドエール「アンブレラ」の2種入り。



SaRyu

とろっとろ

バスクチーズケーキ(冷凍)

寄附金額 13000円

百貨店の催事でも人気のSaRyu。定番のバスクチーズケーキにはミルクィでクセの少ないクリームチーズを配合し、とろけるような食感に上げています。

JA太田市

藪塚こだま西瓜

寄附金額 15000円～29000円

ものづくりだけでなく、農産物のレベルも高い太田。小ぶりの実にみずみずしい甘さが凝縮された藪塚こだま西瓜は返礼品としても人気です。収穫および発送は3月上旬から7月上旬。



山崎酒造株式会社

大学芋風 さつまいもジェラート

6個セット

寄附金額 11000円

太田市の耕作放棄地を開墾して育てられた木村園芸のさつまいも「シルクスイート」と、松井牧場の新鮮な牛乳を使用した、程よい甘さのジェラート。濃厚なミルクの風味に大学芋を思わせる甘じょっぱいソースが加わり、懐かしくも新しい味わいが楽しめます。

SG BASE

Think Scrapコラボトートバッグ／ティッシュケース

寄附金額 78000円／19000円

自動車内外装部品を手がけるしげる工業が立ち上げたアップサイクルブランドから、新作のキャリーセットアップ機能付きトートバックと、紐付きのティッシュケースが登場。いずれも車や小型建機の内装製造の際に生じる耐久性の高い余剰素材を活用しており、長く愛用できます。



もっと
たくさんの人に
知ってほしい

made in 太田のイイモノたち

認定
太田印

人気店のスイーツから大手ブランドコーヒー、さらに高性能な日用品まで。

太田生まれの逸品は実にバラエティ豊か。ぜひふるさと納税を通じて、太田の“イイモノ”に出会ってみませんか？

多肉永遠 多肉植物寄せ植え  寄附金額 10000円~28000円	いやしろち ベイクドチーズケーキ (冷蔵)  寄附金額 11000円~22000円	加藤畜産 くちどけ加藤ポーク (冷蔵)  寄附金額 17000円	助平街屋饅頭本舗 焼きまんじゅう串セット 秘伝のタレ付き(冷蔵)  寄附金額 10000円	ありさんち 焼きかりんどうの 詰め合わせ  寄附金額 5000円~7500円
金井木材 天然木の カッティングボード  寄附金額 8000円~19000円	陽話屋 ソーセージセット (冷蔵)  寄附金額 14000円~44000円	加藤製作所群馬教育センター 小型建設機械操作講習 受講チケット(1名分)  寄附金額 74000円~153000円	ドリム まきやすい 芝生の肥料  寄附金額 5000円~37000円	島岡酒造 群馬県山廃純米酒 720ml  寄附金額 6000円
金星食品 金星餃子(冷蔵)  寄附金額 10000円~18000円	坂井レース クールカーテン71  寄附金額 14000円~25000円	大南食品 上州太田焼きそば (冷蔵)  寄附金額 7000円~11000円	エーザイ ザーネクリーム  寄附金額 5000円~154000円	クラインズ 光触媒空気清浄機 ブチジョシユア2  寄附金額 60000円~64000円
JAにったまどり 掘ったままの やまといも(冷蔵)  寄附金額 12000円~34000円	JA太田市 やよいびめ  寄附金額 12000円	ZENGO 焚火台  寄附金額 30000円~90000円	Yoko's Cookies アメリカンクッキー 詰め合わせ  寄附金額 10000円~104000円	OTAKU ちくちくしない マフラー  寄附金額 33000円
東毛酪農直販 生乳仕立てアイス クリームセット(冷蔵)  寄附金額 8000円~11000円	タクト バイオゴールド シリーズ  寄附金額 14000円~171000円	ACF® コーヒー各種  寄附金額 26000円~49000円	ほうおうファーム (鳳凰ゴルフ倶楽部) 太田市産フルーツ パイヤー1kg  寄附金額 15000円	JAにったまどり ブリックスナイン  寄附金額 11000円~31000円
made in OTA!	 ふるなび	 楽天	 ふるさとチョイス	 さとふる

太田市民もOK!「使い道指定寄附コース」

太田市ふるさと納税では、返礼品を伴う通常の寄附に加え、返礼品を伴わないぶん太田市民の方も寄附ができ、一部の市の事業を選んで直接応援できる「使い道指定寄附」という寄附コースを設けています。当コースへの寄附も、通常のふるさと納税における寄附と同様に、税制控除を受けることが可能です。

「使い道指定寄附」も活用しよう

数ある使い道のなかでも、おすすめはこちらの3つ! 詳しくは2次元コードをチェック



市HP

① 太田市みらい給付型奨学金事業応援

ふるさと納税を通して、太田市で育った学生たちの未来を応援することができます

② にいたやま教育応援

市内の小・中・義務教育・高校の教育環境の整備や教育振興を応援することができます

③ 金山再生プロジェクト応援

太田市民の心のふるさと「金山」の再生プロジェクトを応援することができます



OTA magazine vol.6

市民ライターが作った「太田市のガイドブック」



●この雑誌に記載されている金額表記はすべて(税込)です。
また、この雑誌に記載された情報は2025年9月現在の
情報を元に作られています